



園部共同作業所 だより

園部共同作業所発行

〒622-0011
京都府南丹市園部町上木崎
町入道32
電話0771-62-3249
FAX0771-63-2941

NO 101

城島さん会長のお役目 「くろろさま」までした

長年、家族会や当作業所にご尽力
いただいております。城島幹夫さん
が六月二十五日に、ご家族の居られる
宇治の方で亡くなられました。九七
歳でした。その城島さんのおつき
あいを思い出し、ご冥福をお祈り
いたします。

振り返りますと、船井郡に共同作
業所をといたことで、関係者が集ま
りました。夜に旧園部町役場の二階
でした。保健所の精神相談員の是恒
さん、住民課の前田さん、家族会の
城島さん、それと私の四名だけでし
た。城島さんは何も発言や意見を言
わない人だなーと今も記憶していま
す。それからしばらくしたら、船井
郡家族会の会長になっておられまし
た。最初は会計だったと覚えていま
す。その後京都府精神障害者家族会
会長に、驚きです。家族会議には一
〇〇パーセント出席をほこる城島さ
んですので皆の希望の星だったのだ
すね。ところが発言されないのと、
一番困るのは声が小さいので話され
る内容が参加者に分かり難いこと
です。その会長が、第三五回精神障害
者家族会全国大会と同時に第五回世
界大会において、京都宝ヶ池の国際
会議場で第一声の挨拶をしなければ
ならないことになり、京都の関係者
は全員「えー」と絶句、本人よりも
こちらの方が心配したものです。



台掌
所長 杉山 俊夫

とうとう大会当日です。ハラハ
ラ、ドキドキ周りの者が緊張しま
す。どうして京家連は代理をたて
ないのかと思つたものです。とこ
ろが京都関係者が心配していたこ
とはなく城島さん最大の声で挨拶
され大成功です。ヤッター、我々
は大喜びでこれで無事大会が終わ
つたと思ひました。
園部共同作業所の運営委員に、
園部共同作業所を支援する会の代
表にもなつていただき、お世話に
なりました。
又、メンバーさんとの交流会で
ある家族会の合唱コンクールや、
スポーツンクレーション、お花見
や海水浴にも同行してもらい楽し
みました。特に作業所に来る時は
必ずお菓子を持参いただくので、
皆それを楽しみにしていました。
本当に長い間ありがとうございました。
ゆつくり休んで下さい。

行事・レクレーション

四月七日(木)

お花見
石清水八幡宮
(背割り桜)
京都水族館

五月一九日(木)

お茶摘み
(日吉町八栄)

五月二二日(土)

ソフトボール交流試合
(保津グラウンド)

五月二二日(日)

障害者スポーツ
フェスティバル
(丹波自然公園)

寄贈品

五月・四日

ゼリー(菓子)
横谷 善朗様

六月一日

ジャガイモ
児島 美由紀様

ありがとうございました。

そうめん販売の お礼

毎年恒例になつて
おります。夏のそう
めん販売！今年は早
から取り組みを始め
ました。メンバーも
とりが声かけやお
いに、関係のみな
又、沢山のボランティア
や、皆様のボランティア
で夏のボーンズ資金
を確保することが
できました。
本当にありがとうございました。
厚くお礼申し上げます。





ソフトボール観戦記

いつも楽しく観戦させていただいております。近頃は保津のグラウンドで桜が丘&リリースさんの混合チームと対戦しています。当日は天気も良くすぐに気温が上がってきたので、熱中症に気を付けて無理はしないようにと注意があり、プレイボールとなりました。序盤は作業所チームがリードして進んでいきましたが、中盤相手チームの反撃が始まります。ものすごい場外ホームランもあり、駐車場に止めてある車に当たりそうになり、ハラハラしました。お互いにナイスプレーが続き目が離せません。追いつけ追い越せの大接戦です。そして最終回、相手チームの攻撃を抑え作業所チームの勝利となりました。試合後王将で昼食をとり帰路につきました。けがもなく体調をくずす人もなくよかったです。また秋もいい試合を期待しています。皆さまお疲れ様でした！

石黒 美樹

お茶摘みに行つて

河辺 里美

この日はあまり暑くなくお茶摘みにはちょうどよいお天気、私達は上きげんではり切つて出発、八栄というところの畑に着くと、黒田先生はもう来ておられ、いつもの場所からつんでおられた。皆んなも、今年はいきれいな芽が出ているナーとか言つて時間のたつのも忘れるくらいがんばつて、つみましました。そのうち、先生が「お昼にしましょうか」と声をかけて下さり、木の影の所まで下りて行きました。お弁当も用意して下さり、とてもごちそうでした。エビフライやお魚、卵焼き、おひたしなどなど、おまけにおはぎまであり、おはぎは残した人もありました。私も残して持つて帰りました。午後も休まずがんばつたので、三時まえには終わりました。又来年も参加したいと思ひます。



実習ありがとうございました

今回の実習で私たちは初めて共同作業所という場所に行きました。実習に行くまではどんなところか想像が付きにくく、作業を黙々とやつておられるイメージや精神疾患を持つておられる利用者さんとのように関われば良いのかという不安をもっていました。

しかし実際に利用者さんとコミュニケーションをとるながら一緒に作業をする際、学生に対してわかりやすく説明をしてくださつたり、わからないことは利用者さん同士で教えあつたりしながら良い雰囲気の仕事ができていきました。イメージとは違い、私たちも楽しい雰囲気の中で利用者さんと一日過ごすことができました。

その人のペースで社会と触れ合う機会を作りながらその人自身の能力を伸ばさせる環境であり、社会復帰の手助けとなつていると感じました。

園部共同作業所は支援B型ということもあり非雇用ではありますが、就業時間はその人にあわせることができます。そのため、利用者さん一人一人に合ったペースで作業を行うことができます。また作業は一つの種類を行なうのではなく、様々な作業をされておられ、新しいことをするきっかけにつながると感じました。

その人のペースで社会と触れ合う機会を作りながらその人自身の能力を伸ばせる環境であり、社会復帰の手助けとなっているとも感じました。これらの学びを生かして、幅広い知識をもち成長していきたいと思ひます。

公立南端看護専門学校

学生

足立 菜々

清水 麻那美

武田 規子

波多野 安希

編集後記

グループホームつぼみの個人の部屋にクーラーを付けました。皆んな大喜びです。しかしホームの横は川なので、夜間は他の所に比べると随分涼しいのです。朝になったら風邪を引いていないか、秋の電気料金がいくらになるか、心配です。

